

## IAUPについて

世界大学総長協会(IAUP)は、高等教育機関の総長らによって構成される協会で、1964年に英国バンベリー市のロクストンアビーで設立されました。主な目的は、高等教育の世界的ビジョンの策定、教育機関による国際的ミッションの推奨、学術的な交流・提携の促進、会員間および大学間のネットワーク作りならびに教育を通じた国際的な理解の推進です。

IAUPウェブページ: <http://iaup.org/home>

## 国連アカデミックインパクト(UNAI)について

国連アカデミックインパクト(UNAI)は、国連と世界の大学を結ぶ新しいパートナーシップです。

2010年秋に発足以来、すでに1,000校を超える世界の大学が参加しています。広く世界の大学に開かれており、大学にも国連にもメリットの多い、互恵的な協力関係です。「国連憲章の原則を推進し、実現する」を始め10原則を支持し促進させるというコミットメントによって成り立っています。また、国連アカデミックインパクトのもとで、学生同士が斬新な革新を協議する「ASPIRE (Action by Student to Promote Innovation and Reform through Education)」プログラムが展開中です。若者は、世界が抱える諸問題の解決に如何に貢献できるかを模索しています。

国連アカデミックインパクトは、未来を共有する世界の学生が、知恵を出し合い、共通のプログラムを創る場を提供しています。

UNAIウェブページ: <http://outreach.un.org/unai/>



## アクセス

### 【JRご利用】

- みなとみらい線 みなとみらい駅より徒歩3分
- JR横浜線で、菊名下車、東急東横線元町・中華街方面(特急)に乗り換え、みなとみらい駅下車 徒歩3分
- JR京浜東北線・市営地下鉄 桜木町駅より徒歩12分、バスで7分、タクシーで5分

### 【新幹線ご利用】

JR東海道新幹線 新横浜駅下車、電車で13分、タクシーで約20分(高速道路利用)

### 【タクシーご利用】

横浜駅より7分

※タクシーのりばは東口ボルタ(地下2F)または、YCATをご利用下さい。

羽田空港より、リムジンバスで約45分、電車で約30分、タクシーで約30分(高速道路利用)

### 【リムジンバスご利用】

YCAT(横浜)行きのリムジンバスをご利用、みなとみらい線またはタクシーに乗り換え。

### 【直通バスご利用】

京浜急行バス、パシフィコ横浜直通。みなとみらい地区・赤レンガ倉庫行きをご利用下さい。

### 【電車ご利用】

京浜急行(快速特急)逗子方面行き利用、横浜下車、みなとみらい線に乗り換え、みなとみらい駅下車 徒歩3分。

## ホテルマップ



### IAUP2014 事務局

桜美林大学内  
〒194-0294 東京都町田市常盤町3758  
Tel: 042-797-9718  
Fax: 042-797-0132  
E-mail: [iaup2014@obirin.ac.jp](mailto:iaup2014@obirin.ac.jp)  
URL: <https://www3.convention.co.jp/IAUP2014>

<https://www3.convention.co.jp/IAUP2014>



Theme  
**Creating the Future of Higher Education**



Dates  
**June 11-14, 2014**

Venue  
**PACIFICO YOKOHAMA**



## 大学総長のグローバルボイス

皆様

今日の世界の高等教育を率いるリーダーが集う、素晴らしい会合に皆さんをお迎えでき非常に嬉しく思います。IAUPでは3年毎に総会を開催し、同僚たる教育者、政策立案者、思想的リーダー、インベーター、政府関係者、および今年は我々が教育を提供する学生の皆さんに広く門戸を開いています。

3年に1回、全会員が総会の場に集まり、次の3年間議長を務める国(今回は米国から日本)に会長職を引き継ぐとともに、「高等教育のグローバル・ボイス」(Global Voice of Higher Education)を発信します。これは、複雑さを増す一方の密接に結びついた明日の社会を先頭に立てて形作る、次の世代の若者を、世界市民に育て上げる使命を委ねられた、世界中の大学総長の道徳的な信念を結集した意見です。

大学へのアクセス、質の保証、相互の違いを尊重した文化の壁の超越、資源格差、急速な技術進歩などの重要なテーマをめぐる、極めて生産的で活発な私たちの議論にぜひ参加し、みなさんの意見をお聞かせ下さい。

今年の総会では、桜美林大学総長、IAUP太平洋評議会共同議長も務める次期IAUP会長の佐藤東洋士博士が議長を務めて下さいます。

横浜で皆さんにお会いするのを、楽しみにしています。



President, IAUP and President, Sofia University, USA  
Neal King, PhD

## 高等教育の未来創造

皆様

2014年6月11～14日に横浜にて、世界大学総長協会第17回総会を開催致します。実行委員会に代わって、参加者の皆さまを心から歓迎致します。

IAUP総会ではこれまでずっと、高等教育という壮大なテーマの下で、世界の多様な地域の大学総長や重要な国際機関のトップ、影響力ある世界的企業の役員の方々から提示された幅広い話題を扱ってきました。大学へのアクセス、学生・教員のモビリティ、認可制度、国際交流、多様性、文化の相違、リーダーシップなどに関する議論を通じて、私たちは高等教育機関の意見を集約し、グローバルな教育の実現に向けた推進力を確立してきました。

今回の横浜総会のテーマは、「高等教育の未来創造」です。基調講演や、画期的なプレゼンテーションに耳を傾け、素晴らしい議論に参加できる格好の機会となるでしょう。また他大学の総長や様々な機関・企業のグローバルリーダーの方々、と交流を深める場も提供させて頂きます。本総会が、参加者一人ひとりとおよび大学にとって、実りあるパートナーシップと強固な国際的ネットワークを築くまたよい機会になるものと確信しています。

私たちは、文部科学省、日本私立大学協会をはじめとする各種大学団体、公益財団法人日本高等教育評価機構、およびその他多くの国内外の組織から厚い支援を受けており、国連アカデミック・インパクトとの共同プログラムも準備しています。総会プログラムの一貫として、学生、教授、職員、大学経営者の方々に参加を呼び掛けています。日本および近隣諸国の多くの大学総長が、世界各国から来られた総長をお迎えする予定です。国際都市横浜に大学総長が集う、グローバルな会合になるでしょう。

皆さんが参加し交流することで、IAUP総会が真に記憶に残るイベントになるのです。奮ってご参加下さるよう、お願い申し上げます。



IAUP次期会長・桜美林大学総長  
佐藤 東洋士

## プログラム

### 6月11日(水)

18:00 - 20:00

オープニング・カクテルパーティ  
(於パシフィコ横浜301-304号室)

### 6月12日(木)

9:00 - 10:00

開会式・総会

10:00 - 10:30

休憩

10:30 - 11:10

基調講演

11:10 - 12:00

特別講演・分科会

12:00 - 13:30

昼食

13:30 - 15:00

パネルセッション、プレゼンテーション(分科会形式)

15:00 - 15:30

休憩

15:30 - 17:00

パネルセッション、プレゼンテーション(分科会形式)

### 6月13日(金)

9:30 - 10:30

IAUP-国連合同パネルセッション

『紛争回避—未来を見据えて』

(Avoiding Conflict: Looking Ahead)』

10:30 - 11:00

休憩

11:00 - 12:30

特別講演・分科会

12:30 - 14:00

昼食

14:00 - 14:45

プレゼンテーション(分科会形式)

14:45 - 15:15

休憩

15:30 - 17:00

パネルセッション、プレゼンテーション(分科会形式)

18:30 - 22:00

ガラディナー&エンターテイメント

(於横浜ベイホテル東急)

クイーンズグランドボールルーム)

### 6月14日(土)

9:00 - 10:00

特別パネルセッション

『未来の声 (Voices of the Future)』

10:15 - 12:00

IAUP総会:閉会式

12:00 - 13:00

昼食

## 全地球規模の課題解決

皆様

2014年横浜総会日本委員会委員長として、本総会へご参加の皆様を心より歓迎申し上げます。

今回の総会では、「高等教育の未来創造」というテーマを掲げました。社会の急速な変化・発展を背景にして、世界中で、高等教育の果たす役割への期待が高まっています。高等教育は今や若年期の正規的教育システムとしての活動だけではなく、生涯を通じた人々の学習活動を支援するという、新しい要請に応える組織として、その量的・質的な発展が望まれています。そのため、その活動の姿としても非正規型の機関を含め、多様な展開が続いております。また、そのテーマも、伝統的な学問体系への取り組みばかりでなく、リオ+20で確認された持続可能な発展や平和、人権、気候変動といった全地球規模の課題の解決に対しても積極的な貢献が望まれています。

今回の総会では、これらの高等教育を巡る各種の課題を幅広い眼で俯瞰しながら、これからの高等教育の在り方を探求し、「未来の声」を発信していくことを目指しております。

どうか、高等教育機関の皆様はもとより、各方面の方々が多く集い、知恵を合わせて、高等教育の未来についての方向性を探る活動にお力をお貸し下さい。



2014年横浜総会日本委員会委員長  
IAUPシニアアドバイザー  
佐藤 慎一

## 国連アカデミック・インパクトとIAUP

最新のスピーチの中で、日本の西田恒夫国連大使は、「世界を取り巻く環境は、極めて複雑なものとなっています。グローバルで代表的な国際的学術組織の多くは、国際社会が取り組まなければならない課題の総合的解決策を通じた行動を国連が継続的に実施していくことを望んでいます」と語っておられました。

西田大使は、潘基文(バンギムン)国連事務総長の意見に賛同され、2010年に国連アカデミック・インパクト(UNAI)が発足した際、「総合的解決策」ということばを使い、「国境も学問領域も関係なくアイデアを共有すれば、多大なる困難の原因となっている相互に関連しあう問題の解決策を見出すことができます」と述べられました。

UNAIのような国際シンクタンク、また世界大学総長協会(IAUP)といった知的リーダーシップ関連の団体などは、桜美林大学佐藤東洋士総長が明確に表明した、21世紀は枠組みを越えた協力を行う時代であるという展望の代表的なものです。佐藤総長は、単に国境や地理的境界線といったことだけではなく、考え方の、学問領域の、そして心の垣根といったことについても言及されておられると思います。私が期待しているのは、日本の大学や研究者、また先生や学生がそうした枠を越え、さらには枠を取り払うといった非常に重要な役割を継続的に果たしながらも、それぞれが持つそのものらしさの正当性も高めていくということです。三島由紀夫の名言に次のようなものがあります。「認識だけが、世界を不変のまま、そのままの状態で、変貌させるんだ。認識の目から見れば、世界は永久に不変であり、そうして永久に変貌するんだ。」



Chief, the Civil Society Service, Department of Public Information,  
United Nations Director, United Nations Academic Impact

Dr. Ramu Damodaran